

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日時:令和4年6月3日(金)

場所:出雲市立国富小学校 体育館

対象:出雲市立国富小学校6年生 32名

指導者:埋蔵文化財調査センター 名

国富小2名(社会科担当、6年担任)

1、主題 「埴輪の世界を知ろう」

2、ねらい

○島根県や出雲市(国富)の歴史を知ることを通して、地域の文化財や歴史への興味・関心を高めるとともに、ふるさとの誇りや愛情をもつ。

○埴輪づくりを行うことにより、古代人の生活やものづくりへの関心を高める

3、展開 *ゲストティーチャー(埋文)(GT) 9:50頃来校、搬入、準備 場所:体育館<全活動>

時刻	主な学習活動	指導者の支援・留意点	準備物
10:40 (5分)	1、学習の見通しをもつ ・GTの紹介 ・学習の流れをつかむ	・GTの紹介 (T1) ・埋文センターの仕事の内容・成果等について簡潔に説明(GT) ・学習の流れをつかむために、全体の流れを提示し説明する。(GT)	プロジェクター スクリーン PC 予定表(パワポ)
10:45 (10分)	2、学校周辺の遺跡について学ぶ ・地域の歴史や遺跡についてプリントやパワポで理解する。 *出雲市の遺跡数や校区内の古墳	・身近なある遺跡の画像や出土品などの資料を見せながら、古代の出雲(国富)の様子を紹介する。(GT)	プリント
10:55 (10分)	3、埴輪について学ぶ ・写真(プリント)やパワポを用いて資料で理解する。	・古代人の生活やものづくりへの関心を高める。(GT)	
	～休憩・準備(10分)～	T1・2、GT	
11:15 (45分)	4、はにわづくりに挑戦する。 ・プリントで作り方を学び、埴輪を作る。 ・埴輪づくりの間に出土品の見学をする。(グループごとに見学)	・古代人の人々の工夫や思いを取り入れた作品を紹介しながら、理解を深めるようにする。 ・遺物についての大まかな説明をする。(GT)	新聞紙 粘土板へら 粘土板
12:00 (5分)	・片付け		プリント 遺物 パネル
12:10 (5分)	5、学習をふり返り。感想を発表する。		アンケート

4、準備

○国富小：プロジェクター、スクリーン、P C、長机4台、新聞紙、延長コード
カメラ、ほうき等

○児童：筆記用具、粘土板、汚れてもいい服、水入れ、敷物、ぞうきん、水筒

○埋文センター：埴輪用粘土、粘土芯、粘土ヘラ、のぼし棒、施文具、(児童数分)

学習用プリント、埴輪の見本アンケート用紙、埴輪づくり方プリント、資料プリント
遺物、白布、カメラ